

WebOTX Application Server Standard / Enterprise ライセンス体系変更に伴う価格比較

日本電気株式会社

クラウドプラットフォーム事業部

2016年11月

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

はじめに

WebOTXはV9になって高くなった？

いえいえ、そんなことはありません。ライセンス体系が変わったことにより、高くなることも安くなることもあります。

本書は WebOTX Application Server Standard / Enterprise V9 および V8 において、V9がおトクになる構成例を記載しています。

1. バージョンによる見積もりの違い
2. V9の方がおトクになる構成 (仮想環境の場合)
3. V9の方がおトクになる構成 (稼動待機構成の場合)

ライセンスや価格についてもっと詳しく知りたい場合は、

WebOTX ライセンス関連資料

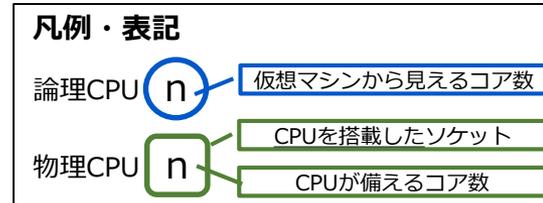
<http://jpn.nec.com/webotx/download/proposal.html#license>

WebOTX Application Server 価格・型番一覧

http://jpn.nec.com/webotx/appserver/product/price_as.html

それでもよくわからない場合は、

WebOTX製品問合せ窓口<info-webotx@isd.jp.nec.com>



バージョンによる見積り方の違い

ライセンス体系がシンプル！待機系にはライセンス不要！(*1)
だからV9がおトクになります！

WebOTX Application Server Standard / Enterprise ライセンス体系差分

	V9	V8
ライセンスの考え方	2コアにつき1ライセンス(*2) ライセンスは1種類	基本ライセンス1本と、 搭載CPUやそのコア数に応じた CUライセンスを複数本(*3)
待機系(*1)のライセンスの 考え方	待機系にライセンスは 不要	「待機系ライセンス」が必要

同じハードウェア構成でも、バージョンにより必要ライセンス数が変わります。

次ページでは、V9でおトクになる構成例を紹介します。

詳細な見積り方法や変更点については、ライセンス関連資料を参照してください。

<http://jpn.nec.com/webotx/download/proposal.html#license>

(*1)稼働系と待機系が一切同時稼働しない場合です。

(*2)通常はインストール単位に計算してから必要環境分を合計しますが、

V9ではシステム全体のコア数で見積り可能なボリューム・ライセンス製品もあります。

(*3)V8では仮想マシン集約時、仮想基盤となる物理サーバ単位の見積りも可能です。

V9では物理サーバ単位と仮想マシン単位、どちらであっても1種類のライセンスを使用コア数に応じて見積りするため、特に見積り方法を意識する必要はありません。

では、構成例を
見てみましょう

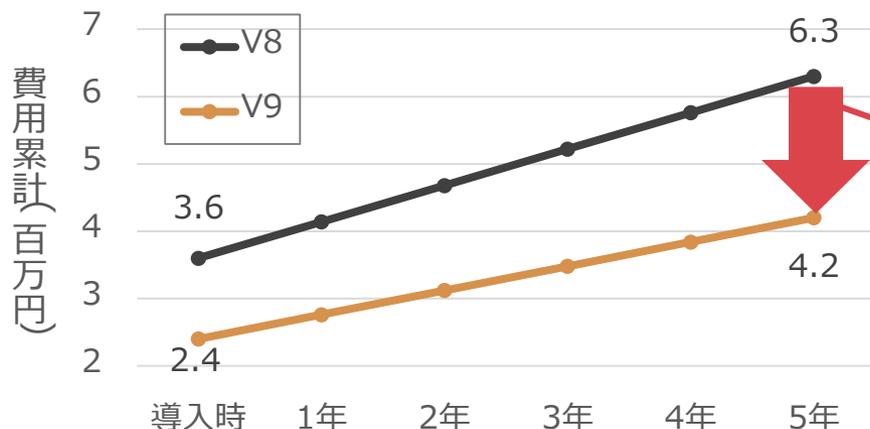
V9の方がおトクになる構成 (仮想環境の場合)



4コアまでならおトク！

V9は物理サーバ構成の考慮不要、使用コア数のみでシンプルに計算！

2CPU×6コアの物理サーバ上に4コア割り当ての仮想マシン1台



5年後には
合計200万円以上の
コスト差に！

●見積

※インストールメディアは別売

バージョン	製品名	数量	合計ライセンス費用(円)	合計保守月額(円)	合計保守5年分(円)
V8	WebOTX AS Standard V8.4	1	3,600,000	45,000	2,700,000
	WebOTX AS Standard V8.4 CU License	1			
V9	WebOTX AS Standard V9.4 Processor License	2	2,400,000	30,000	1,800,000

V9なら、4コアまではおトク！

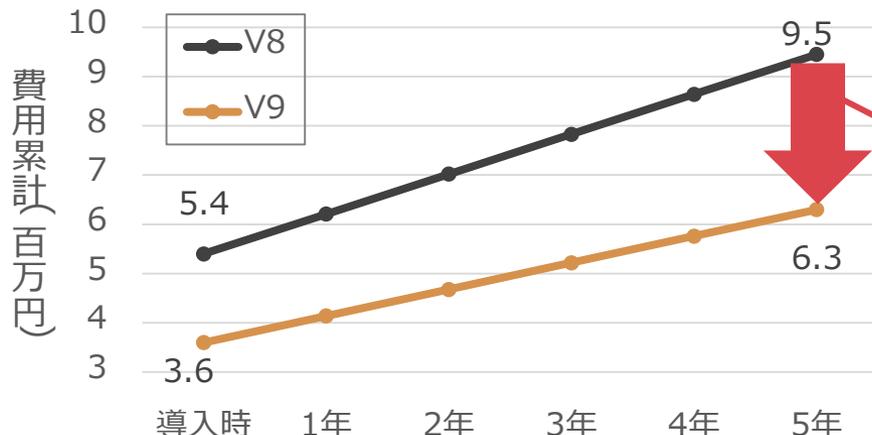
V8は、使用コア数と物理サーバのCPUに応じてCUライセンスを計算

6コアCPUの場合、2～6コアまでは1CPU分のCUライセンス=割り当てコア数が2でも4でも6でも同じ金額

V9の方がおトクになる構成 (稼働待機構成の場合)

💡 必要ライセンスが減る分おトク！
 V9は同時に動作しないなら、待機系サーバのライセンスは不要！

1CPU×6コア×2台の稼働待機構成



**5年後には
合計300万円以上の
コスト差に！**

※待機系マシンのライセンスが不要になるのは、同時にWebOTXが起動しないことが明確な場合のみ
 ※インストールメディアは別売

●見積

バージョン	稼働系/待機系	製品名	数量	合計ライセンス費用(円)	合計保守月額(円)	合計保守5年分(円)
V8	稼働系	WebOTX AS Standard V8.4	1	5,400,000	67,500	4,050,000
		WebOTX AS Standard V8.4 CU License	1			
	待機系	WebOTX AS Standard V8.4 for Standby System	1			
		WebOTX AS Standard V8.4 for Standby System CU License	1			
V9	稼働系	WebOTX AS Standard V9.4 Processor License	3	3,600,000	45,000	2,700,000
	待機系		0			

V9なら、待機系サーバのライセンス不要！

 **Orchestrating** a brighter world

NEC